

## 日本公民館学会 第8回研究大会のご案内

研究大会が第8回を迎えます。

第1回・第2回は東京の中央大学(後楽園校舎)で行なわれました。その後は埼玉県さいたま市、長野県松本大学、神奈川県川崎市、千葉県浦安市、広島市の広島修道大学で開催されました。各地の皆さま、お世話さまになりました。

さて、今年は12月5日(土)・6日(日)に北関東は群馬県高崎市中央公民館・北公民館を会場にして実施します。二日間のプログラムは前回とほぼ同様ですが、遠く全国から多くの方々を上州においでいただく訳ですから、少しでも群馬の公民館を知っていただける機会にしたいと実行委員一同、額を寄せあって検討しているところです。未確定の点もありますが、次の五点に力を入れて準備をしております。 群馬の公民館実践を踏まえた公開シンポジウムの開催 群馬県内会員による自由研究発表 三日目の公民館視察は県都前橋市で 県内公民館活動の16ミリ映画の上映 社会教育関係雑誌に掲載された群馬の実践の発掘と公開などです。

開催地は、東京から100<sup>キロ</sup>、上越新幹線または長野新幹線で1時間。JR高崎駅(西口)から徒歩15分です。飛行場はありません。群馬県は38市町村、211館の公民館が活動しています。全国の公民館設置率は89.1%ですが群馬は92.6%で、それぞれの地域に根ざした活動を行なっています。(平成17年10月現在、文部科学省統計)

また、群馬では全国に先駆けて『公民館ハンドブック』が公民館職員の手で編集刊行されました。これは本学会編『公民館コミュニティ施設ハンドブック』刊行から遡ること30年前に群馬県公民館連合会が総力を挙げて編集・発行したものです。350頁をこえる大部なもので、当時全国の多くの仲間たちに活用されました。群馬県の人口は200万8千人です。群馬県にはご当地カルタともいべき『上毛(じょうもう)かるた』があります。これは第二次大戦後、青少年の健やかな成長と郷土愛を育むべく考案され、60年余にわたって県民に親しまれてきました。このカルタの競技大会が毎年正月に行なわれます。そこで歳末には各地の公民館を会場にして子ども会によるカルタの練習が始まります。群馬県内で青少年期を過ごした人は全員このカルタの読み札を諳んじていると言われていています。

群馬は、関東平野の一部と山地・山岳地帯とからなっています。冬は空っ風が吹き、県の北半分は雪におおわれます。また温泉地が沢山あることでも有名です。群馬は風と雪のくに(・・)であり、出湯(いでゆ)のくに(・・)であります。研究大会で大いに議論した後は、温泉につかりゆっくり上州の初冬を満喫していただきたい。全会員の皆さまのお越しをお待ちしております。

(文責 植原孝行)